



# 善正寺だより

掲示板法話

## いつ死んでもよし

## いつまで生きててもよし

九月は敬老の日が巡ってきます。女性の平均余命が世界第一位の八七歳弱、男性も世界第三位の八〇歳台となり、日本は世界一の長寿国と言えるでしょう。国民皆保険制度のお蔭も蒙って、我々は賜りたる長寿をもっと喜んでよいはずなのに、現実には「淋しい高齢社会」になりつつあるようです。

私事ながら今秋、古希を迎える年齢にさしかかり、亡父のことを思い出すことがありました。ある法要の席で参加の人が故人の遺影写真を眺めて「この写真、いつごろ撮ったのですか？」と尋ねたのをきっかけに、「元気な間に大事な写真を撮っておくといよいよね」と座談が弾みました。門徒の人たちに遺影写真の準備を促しながら、自分自身の準備ができていないことに少々良心の呵責を覚えます。

そこでふと、私は亡き父の遺影と重なった写真のことを思い出したのです。父は満七〇歳となった頃、まだ神戸別院で単身赴任中でした。相前後して定年制が敷かれて退職し、神戸から戻ってきたとき、神戸の写真屋さんで撮った正装姿の写真を密かに私に手渡し



ました。「いつの日か分からないが、これをわしの遺影写真にしてくれ。誰にも内緒にな……」と言われたので、母にも家内にも言わず机の引き出しの奥深くに保管、それから十六年後本当の遺影写真になりました。

遺影写真を撮ったのは、「いつ死んでもよし、いつまで生きててもよし」(金子大栄師)という腹の据わった心境あったことだと思われまします。それから十六年間、極めて前向きに法務や布教に出かけ、著書も出版。法話の会も企画して継続。趣味の詩吟の発表会にも参加しました。省みて同じ年齢に達する私自身、「お前はどうか？」と自問自答しつつも、恥ずかしながら遺影写真撮る気はまだまだ起きません。

「いつ死んでもよし」というのは、死すべき身を見据えつつ、還るべき世界(お浄土)がある、という安心の境地が与えられてあるから言える言葉でしょう。「いつまで生きててもよし」というのは、老いていく苦悩も病にかかるといふ苦悩も逃げることなく、引き受けていく覚悟あつてこそ発することが出来る言葉です。

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
FAX:0593-32-0733

### ☆行事ご案内☆

## 『小杉町追悼法要』 9月20日(日)

午前10時:物故者、午後1時:戦没者

講師:朝枝暁範先生(広島)

主催:小杉町仏教会、三全仏教婦人会、長寿会



私にとって父は高齢者の生き方のお手本です。その父にとってのお手本はよき師匠(梅原真隆先生)、更に何よりもおこがましいことながら親鸞聖人であった、と私は思っています。

亡くなる二日前の夜、「親鸞さんに遇えてよかった」とうわごとのようにつぶやいていたのですから……。いつも唱和する恩徳讃は親鸞聖人、八十七歳に詠まれた和讃と言われています。

### 今月の写真アラカルト



夏休みの境内; アメリカから一時帰国のお友達も一緒に



2015.07.28 17:05

### ◇『ファミリーコンサート』 9月12日(土)午前10時半より

家族で楽しむ音楽会、無料! 歌とピアノ、終了後お楽しみも!

### ◇絵手紙教室 9月8日(火)午前10時 庫裏食堂で

川崎光子先生。お誘い合わせてお気軽にご参加下さい!

### ◇キッズサンガ 9/5(土)午後4時よりお経ゲーム。

鐘つきは毎夕5時、年中無休、お友達を誘って来てね

### ◇三重組コーラス 9/3(月)西勝寺様で練習、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。

毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。開設7年1か月で18万2千訪問、一日平均100訪問、悩み相談、大歓迎! 即返信

### ◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話

親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後

※お稚児さん大募集! 参加費5千円、詳細お申込みは寺まで生涯のよき思い出、仏縁です。お誘い合わせてご参加下さい!

### ◇新納骨堂: 後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

### 坊守スケッチ

## いのちの世話

「村八分」は、仲間外れを意味します。但し残り二分の付き合いだけは許されました。それは消火と葬儀です。消火は類焼を恐れ、葬儀は伝染病を予防するためです。昔から出産、結婚式、成人式、看病、災害の助け合い、排泄物、もめごと解決、教育等、いわゆる「いのちの世話」は地域の人々の助け合いが必要でした。しかし現在は全てが税金やサービス料を払ってビジネス化しています。その結果家族がいても「いのちの世話」が全般に渡って受身的になりお客様状態。便利さと引き換えに失ったものも大きいのではないのでしょうか？イジメがあっても他の生徒は見えて見ぬふり。被害者の子供の親は学校の責任を追究。子育ては家庭のしつけと学校教育がかみ合っていないと上手いききます。義務と責任を他へ押し付けて、相手側の非ばかりを責めては解決の道は見つかりません。

共働き家庭が多いアメリカ力では「一人の子供を育て上げるには、村全員の協力が必要」という教育方針があります。時には教会が関与する場合もあります。日本では血縁、地縁、社縁が薄れ「いのちの世話」が無能力化状態。再び無縁の縁を結び直す為にお寺も協力したいと思います。5時の子供たちの鐘つきが、仏様との縁作りのきっかけになることを念願しています。



#### ☆若院夫婦の『育自な毎日』その11

猛暑の夏休み、お宅のお子さんたちはどのようなお過ごしでしたか？おしゃべりでイタズラ盛りの長男(3)も、幼稚園は夏休み。朝から晩までずっと家にいるのでなかなか大変です。でも夏休みにしか出来ないことも沢山あります。

先日、長男は大の仲良しのKくんの家のビニールプールで遊びました。Kくんとはクラスが同じ。家は近所さくんで自然と仲良くなり、長男の口からKくんの名前が出ない日はありません。プールの日も顔を合わせた途端、何やらケラケラと笑っています。水をかけあったり、母親の方までかけにきたり、バタ足をしたり…。しっかり遊んで、ちゃっかりジュースを頂いて、「まだ帰らないよ」「もう帰らないで！」と、二人組の連携プレイにママは大弱り。きつと幼稚園でもこんな風になるのでしようか？時にはちよつとしたケンカもしています。子どもたちは立ち直りが早いのであつという間に仲直り。この修復力、私たち大人にも欲しいものですね。

今だけの子どもの世界、今しか出来ないこと、どちらも親子で存分に楽しみたいと思います。(潤爾・由佳)

### 新企画『お寺で聞こう！ファミリーコンサート』ご案内

若坊守の初企画で、善正寺本堂でミニコンサートを開催します。子育て中のママ・パパ、乳幼児や子供達、ジイちゃん、バアちゃんも近所お誘い合わせて聞きて下さい。入場無料。

時・9月12日(土) 午前10時30分(約1時間ほど)

ゲスト(歌) 稲葉梨恵さん、

(ピアノ) 星合智美さん、

共に三重オペラ協会所属のアーティストで歌手の稲葉さんは若嫁の親友、曲目は、イタリア歌曲、童謡、アニメ曲等家族で楽しめる歌を用意。

#### ホットニュース

☆9月12日(土) 午前10時半『ファミリーコンサート』の終了後、庫裏

でささやかな昼食(味ごはん)をお召

し上がり下さい。食事協力スタッフを

募集。皆と食べるご飯は美味しいよ！

☆『絵手紙教室』第3回が9月8日午

前10時より庫裏食堂で開催。終了後

はお茶会。絵手紙は今や全国的ブーム

「下手でいい・下手がいい」が合言葉。

認知症予防にもなります。原則的に毎

月第2火曜日の午前10時。

☆来年5月15日のご法要で、稚児行

列が本堂に入ってくるまでの時間、皆

様と仏教讃歌を歌います。「いのち毎

日新しい」「娘たちよ」「しんらんさま」

他。女性声楽家をお招きして一緒に歌

います。あなたも是非ご参加下さい。

### Eさんのいいもの紹介

元総代のEさんが施設で見たり聞いたりして感動した話を紹介します

「老いが来た 老いが来た どこに  
来た 足に来た 耳に来た 口には  
来なかった」(♪春が来た♪の替え歌)  
遊びに行けんし 困ったこっちゃ  
けれども何でも食べられる  
おしゃべりもできる  
お念仏が申せる  
こりゃ 有難いこっちゃ

(四日市KIさんの作詞を参照)  
※この詩を味わって思い出したのが  
先代住職の歌「今聞いて すぐに忘れ  
る わが身にも お六字だけは 残  
る嬉しさ」お六字とは「南無阿弥陀仏」  
のこと。同じ境遇ですね。(坊守)

#### カンパありがとう

赤井淑子様、森基通様・他匿名様より  
お志、切手等を頂戴しました。

#### お稚児さん大募集!

平成28年5月15日親鸞聖人750  
回忌法要(9か月後)の御稚児さん大  
募集!参加費5千円。まだ先のことか、  
出足がイマイチ。ご協力下さい。

#### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第261号をお届け  
します。◇事前の冷夏予想が外れ、猛  
暑の夏でした。◇孤独化が進み、老後  
の不安、寝たきりになる不安など、嘆  
きの声が聞こえる。だが「如来様と二  
人連れの人生、丁度良くない筈がない」  
と腹を据えて生き抜きたい。合掌。

夏休みを利用してアメリカから二人の子供を連れて帰省している母親がいました。母親は私の元教え子、わずか二月足らずの日本滞在で、子供に日本の教育と文化を体験させたくて、元の小学校と幼稚園に通わせ、若嫁が教える書道教室にも来しました。アメリカンスクールに通う子供との交流は、日本の子供達にもよい刺激になりました。書道教室が終わると境内でどどボール、庫裡の仏間も珍しく、夕方五時の鐘つきもとても楽しく遊びました。母親はその模様を写真に撮りフェイスブックに投稿。たちまち昭和の雰囲気、日本の良さが残っているね、楽しそうしと米國から次々感想が寄せられました。アメリカでは固い扉で家を閉ざし、見知らぬ人は防犯上招き入れません。近年日本でもそういう傾向はあります。しかし日本の伝統的な家には縁側がありました。縁側は風雨から畳や障子の和室を守り、自然や人と交わる大事な場所です。通りがかりの人とも気安く声を掛け合う社交の玄関口です。現代のお寺にも心の縁側の役目が求められています。いろいろな気があります。どんな人でも無条件にありのまま受け入れて心安らぐ場所を提供する。お寺の新しい「ご縁作り」の出発点ではないでしょうか。今回若嫁の新企画でファミリーコンサートを9月12日(土)午前10時半より開催します。また絵手紙教室3回目は9月8日(火)午前10時、9月20日(日)には小杉町主催の「追悼法要」が皆様とのご縁がますます重なります。どうかご協力ご参加の程よろしくお願い申し上げます。合掌

平成二十七年九月

善正寺坊守拝